



本社センター外観

- 本社所在地：〒332-0001  
埼玉県川口市朝日 4-22-7
- 事業概要：EC物流事業、3PL 事業、フルフィルメント事業、宅配事業
- 常時使用する従業員：84人（2024年5月期）
- 現在の売上高：30億円（2024年5月期）
- 法人番号：5030001081412
- Web： <https://www.adrs-s.co.jp/>

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
浜野 和枝

## お客様の黒子に徹し考働力で貢献

AIロボット倉庫を核に2035年売上100億円を達成し、“AIを最大限活用した”の次世代型EC物流として市場をリードする。その成長で顧客満足と地域雇用を拡大し、処遇改善を実現する。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

当社は2025～2029年にロボ倉庫の横展開と高付加価値ライン投入で「売上32億→67億円」（年平均19～20%成長）をまず完遂し、その後2030～2035年はキャパシティが飽和しない範囲で**年平均7%前後**の持続成長を維持して2035年100億円に到達する計画です。

### 課題

- 資源の確保**—拡大スピードに見合う資金・人材・設備を切れ目なくそろえること。
- 運用の高度化**—拠点が増えても生産性と品質を同水準で保ち続ける仕組みを築くこと。
- 優位性の持続**—市場や競合の変化に合わせてサービス価値を絶えず更新し、差別化を失わないこと。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

当社はAI自動倉庫を導入する川口モデル倉庫を起点に、2030年までに全国7拠点を同仕様のAIロボ倉庫へ横展開して処理能力を3倍に拡張します。これにより、拡大するEC物流需要を確実に取り込み、荷主の波動を吸収しながら付加価値率を大幅に高め、2035年に売上高100億円実現する高成長プラットフォームを構築します。

### 実施体制

本事業は代表取締役 浜野和枝の直轄のもと、事業責任者 浜野裕樹が全体統括し、営業（谷崎副社長）、製造（業務部長 岡野・センター長 外山）、管理・経理総務（業務本部長 有明・副社長 浜野陽子）がそれぞれ専門分野を分担する5ライン体制で推進します。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現への道筋

### ■フェーズ1：川口モデル倉庫を完全自動化

(~2026Q2)

本補助金を活用し、川口の倉庫に自動倉庫システムである Rapyuta PA-AMR 24台 + ASRS 12本を500坪に導入。自動倉庫の成功事例を作る。

### ■フェーズ2：成功事例で共同出資を呼び込む

(2026~2028Q4)

川口のROIレポートを主要荷主に提示。荷主からの出資により当社全国7拠点にAI自動倉庫を水平展開。24h稼働、温度帯別対応を標準仕様で実現。

### ■フェーズ3：人材高度化プログラム

(2027Q3~2030Q2)

「人にしかできない仕事に人を振り向ける」にコミットするため、  
・“ロボットオペレータ資格”を社内制度化  
・Python/BI講座を開講、修了率90%目標

### ■フェーズ4：業界を牽引する成功モデルの発信

・技術・財務効果をまとめた\*\*“中小物流DX白書”\*\*を毎年発行。  
・モデル倉庫見学会を月4回、年間参加企業100社超。  
・物流DXコンソーシアムを主宰し、API仕様・研修教材を共有。

売上高 (億円)

## 当社売上計画（2024-2035）

100億  
達成

